

(様式第3号)

企業・団体名（ マルオカ工業株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【労働者】の機会均等入力	【子会社】の機会均等入力	具体的な取組 (真などの取得確認があれば、併せて記載) (「労働者」に該当した場合は「労働者」に該当しない)	主なSDGs（17ゴールと「69ターゲット」関連項目）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
							100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			全ての雇用条件において差別のない雇用、教育、相談体制を整えている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ・マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメント禁止の会社体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			労働基準法に準じ、長時間労働の是正を実施し、時間外労働は届け出制としている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			外国人労働者も日本人労働者と同一の雇用体制をとっている。			4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			労働安全管理者を設置し、社員向けの労働安全講習会やマニュアルを作成し、労働災害0を目指している。		3						8									
6	労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			管理監督者によるケアを中心に、日常の観察と声掛けにより普段との違いにいち早く気づけるよう取り組んでいる。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			適材適所を考慮し、従業員にあった仕事内容、配置転換を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			職務に必要な研修を実施、または希望者を募り研修会に参加している。			4	5.5				8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金の原則に沿った雇用、就業を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			一般社団法人長野県労働基準連合会の健康診断を受診している。また、法定診断の他に個人の希望を募り胃検診や大腸がん検診などのオプションを実施している。		3						8									
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			産業廃棄物の自社置き場を設置し管理している。										11.6	12		14.1				
12	環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			デマンド測定器を設置し時間単位で使用量を可視化している。							7.3					13					
13	環境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			排出量は把握はまだできていないが、led照明や太陽光発電システムの導入を検討している。						7.2 7.5					###	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			法令で規制されている有害物質を把握し、提示している。		3.9			6.3					11.6	12.4						

<作成時のお願い>

- 作成前に「**作成マニュアル**」を必ずお読みいただき、マニュアルに沿って作成してください。
- 黄色に塗りつぶされている項目は入力必須項目ですので、入力漏れがないか必ずご確認ください。

<作成後について>

新規申請・更新申請、それぞれ対応方法が異なりますので、下記方法にてご対応ください。

■『新規申請』の皆さま

Excelのまま、申請フォームへ添付してください。

■『更新申請』の皆さま

本シートをPDFに変換いただき、ポータルサイトマイページ上よりアップロードしてください。

<「具体的な取組」について>

・「取組レベル」の「基本」項目は全て入力必須です。「チェック項目」の内容に照らして、それぞれの企業・団体において記載時点で取り組んでいる内容について具体的に記載してください。

・「取組レベル」でチャレンジとしている項目については任意入力ですが、既に取り組んでいるもの（または、今後取り組む予定のもの）があれば積極的に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【廃棄物】 の発生 削減入力	【予防】 の発生 削減入力	気体的な取組 （廃などの取組が認められる場合は、併せて記載） （「削減」を記載した場合は、必ず「削減」を記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			環境に配慮した原材料（JAS規格等）を使用し製造している。							6.6									15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			製造工程で発生するおが粉をフケットに固めて販売している。												13	14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			トイレを汲み取り式から下水式に、節水の設備を使用している。						6.4	6.6										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			ISO14001の取得を目指している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）															12.6					
20	公 正 な 事 業 慣 行	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）										7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			各国の輸出規制に促し材料の輸入を行っている。一部国産材料使用を検討している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			社内規則にコンプライアンスに従っている。																16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			社内規則にコンプライアンスに従っている。																	16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			特許等知的財産の取得、管理を行っている。							8.2	8.3	9								
25	公 正 な 事 業 慣 行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			社内規則のコンプライアンスに従っている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って いないこと を確認している	チャレンジ （任意）																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）								5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			パートナーシップ構築宣言を作成し2027年6月までに公表予定。			3					8	9	10							17

市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけその旨を併せて記載してください。

・登録後は年 1 回以上の進捗管理に合わせて、状況を更新し県に報告してください。県に報告いただいた進捗状況については、速やかに公表させていただきます。

・「具体的な取組」については、公表することを踏まえ、具体的かつ企業PRにつながる事項を積極的に記入してく

<「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」について>

チェック項目に対する標準的なターゲット番号を記載しています。適宜自社の取組に合わせて変更いただいても構

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【数値】 の原価 選択入力	【予想】 の売上 選択入力	具体的な取組 (具体的な取組がなければ、併せて記載) (【数値】を選択した場合は項目記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
						16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			品質管理を重視し月に一度の会議を開催し、品質情報 の共有化、対策を図っている。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			SNSの活用やオンラインショップの直販でエンドユー ザーから直接情報を得られるようになった。								9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			国内産の木材を活用した製品の開発、提供により、温 室効果対策や森林整備といった部(表問題)に貢献す る。					6						12	13	14	15			
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			地域内からの工場見学や、地元中学生の職場体験を 実施している。				4				9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域内のイベントに商品提供や、協賛をしている。				4						11				14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	チャレンジ (任意)											8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			社内規則のコンプライアンスに従っている。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築 している	基本 (必須)			社内規則のコンプライアンスに従っている。																	16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を 整備している	基本 (必須)			CRS責任者(取締役)と管理者(代表社員)を置いてい る。																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに 及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会 全体)	基本 (必須)			取引先や、機械大学等と打合せや視察を行い、弊社 の活動がどのような影響を及ぼすかを尋ねるよう努 めている。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			リスクを重要度の高いものから把握し、回避または軽 減する策や代替案を把握するよう努めている。																	16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに 基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り 組んでいる	チャレンジ (任意)																				16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)											9		11		13	13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)											8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は■字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、■字で番号を記載
○ 企業が最へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定